

えかお
愛顔の

とくべつしえんがっこうぎのうけんてい
えひめ特別支援学校技能検定

テキスト

せい

そう

清掃

じさい

-自在ぼうき-



愛媛県イメージアップキャラクター
みきゃん

えひめけんきょういくいんかい
愛媛県教育委員会

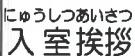
平成 28 年度（3訂版）

じざい

てじゅんひょう

【自在ぼうき】手順表

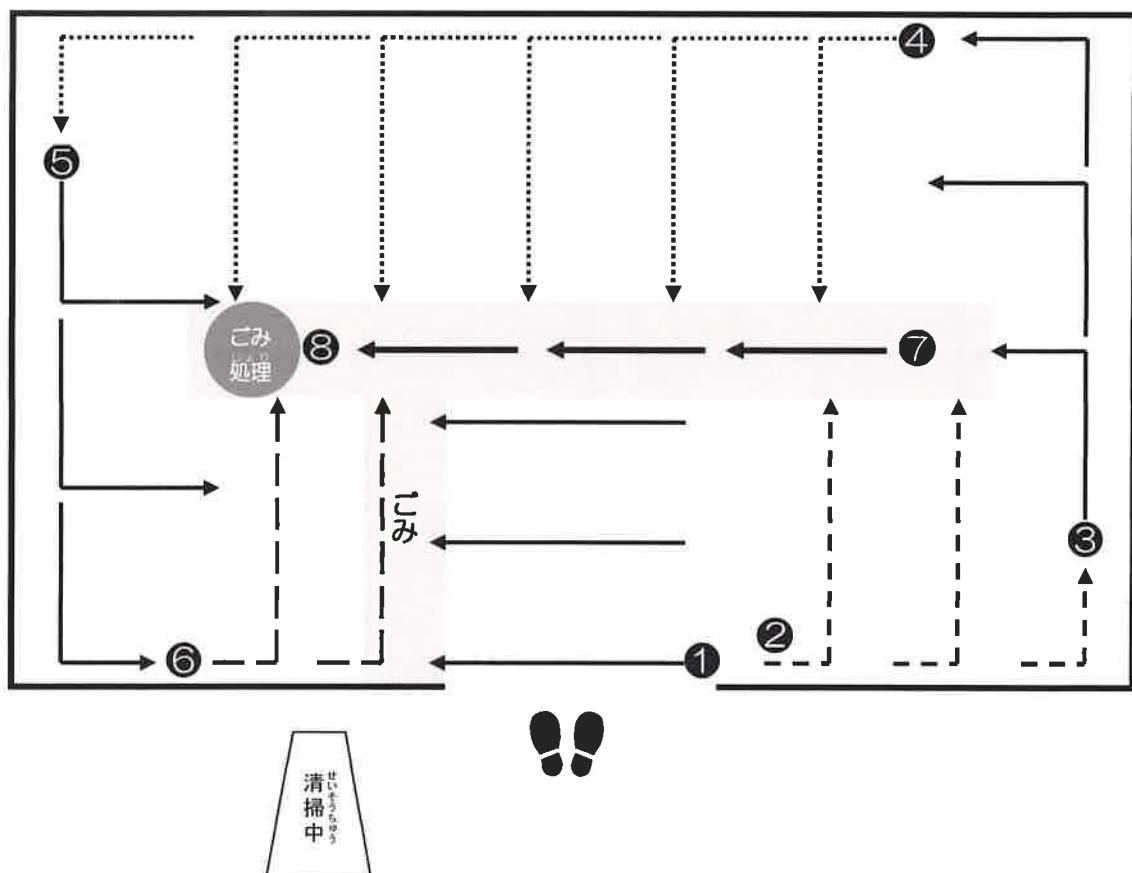
せいげんじかん ふん
制限時間6分

さぎょうこうてい 作業工程	さぎょうないよう 作業内容	しゃしん 写真・イラスト等
1  身だしなみ	① 清掃にふさわしい服装をする。 ② 清潔に気を付ける。	
2  道具準備	① 審査員「〇番△△さん」返事をして、スタート位置に立つ。 審査員「準備を始めてください。」準備を始める。 ② 道具を確認し、足りないものがあれば報告する。 □作業表示板 □自在ぼうき（45cm） □文化ちりとり	
	③ 「準備ができました。」と報告する。	
3  作業開始  入室挨拶	① 審査員「では、作業を始めてください。」 右手を挙げ「（名前）です。始めます。」と言う。 ② 作業表示板を立てる。 ③ ほうきを手に取り、「失礼します。」と一礼して室内に入る。	  
4  掃き作業	① ① 出入口を掃く。 ある歩くスペースを確保	   
	②～⑥ 部屋の隅を、自分のかかとのやや後方から始め幅木から離れずに前方にまっすぐ出す。 つま先の前までほうきを出し、そこから真横に掃く。（L字掃き） 幅木に対して、ほうきのヘッドが斜めになる。	
	③ 中央に集めたごみを、一か所に集める。	
	④ 文化ちりとりを取りに行き、集めたごみを回収する。	

5	点検 てんけん	① ※ごみの取り残しがないことを確認する。 四隅と中央では、「取り残しなし。」と言葉に 出して確認する。	
6	たいしつあいさつ 退室挨拶 かたづ 片付け	① 出口で、室内に向かって「失礼しました。」と 一礼し、退室する。	
		② ほうき、ちりとりを資機材置場に戻す。	
		③ 作業表示板を資機材置場に戻す。	
7	さぎょういゅうりょう 作業終了 はぎょう じゅうりょう	① スタート位置に立ち、右手を挙げ「終わりました。」と報告する。	
		② 審査員に「ありがとうございました。」と挨拶 する。	

《作業図：掃き作業の手順》

※番号は掃く方向の順番を表す。掃く回数は適宜変えて構わない。



自在ぼうき

<p>1</p> <p>※ 【清掃の基本】解説 ①身だしなみを参照</p>
<p>2</p> <p>道具準備</p> <p>※ 【清掃の基本】解説 ②道具準備を参照</p>
<p>3</p> <p>作業開始</p> <p>※ 【清掃の基本】解説 ③作業開始、④入退室挨拶を参照</p>
<p>4</p> <p>掃き作業</p> <p>自在ぼうきの持ち方</p> <p>でいりぐち 出入口</p>
<p>●右利きの人は左手が上、右手が下で、柄の先端を左手親指で押さえます。 これは、作業中に、柄が人に当たってけがをさせたり、窓や物に当たって壊したりするのを防ぐためです。 右手は順手に持ちます。(左利きの人は、反対でも可。)</p> <p>●自在ぼうきは左右どちらでも扱えるようにならないといけませんが、基本として左手が上、右手が下の形を練習しましょう。</p> <p>自在ぼうきの約束は 「掃いた所を歩く。」です。 まだ掃いていない床の上を歩くと、靴にごみがついてしまい、せっかくきれいに掃いても、そのごみがまた落ちてしまうからです。 まずは、出入口を掃いてから部屋に入ります。</p>

4
掃き作業

かべぎわ
壁際

ごうほう ぜんぱう は
■後方から前方へ掃きます。



ほうきの毛先を
幅木から離さず
前方にまっすぐ
は掃きます。

ほうきのヘッド
は斜めにする。



つま先の前まで
ほうきを出し
そこから真横に
は掃きます。

- なるべくほこりを立てないように作業するために、押さえ掃きをします。
ほうきを振り上げるよう強く掃くと、ほこりが舞い上がってしまいます。
※「押さえ掃き」とは、毛先を床から離さずに軽く押さえるように掃くことです。
- 毛先についたほこりを落とすために、何度か掃いたら、床にとんとんと軽く毛先をたたきつけます。

- ほうきについたほこりを散らさないように、最初から最後までほうきの同じ面を使って掃きます。
- 幅木や机の脚などに自在ほうきを当てないよう気を付けます。

すみ
隅



ほうきを斜めにし、
すみは隅を掃く。



すきまは隙間なく掃く。



からだむかつき
体の向きを変えて次
かべぎわいどう
の壁際へ移動する。

4

掃き作業
はきぎょう

ごみの処理
しょり



中央に集めたごみを、一か所に集めます。

正しい構えでほうきを持ちます。(ほうきをわきはさうではさ腕で挟む、腕で挟む)



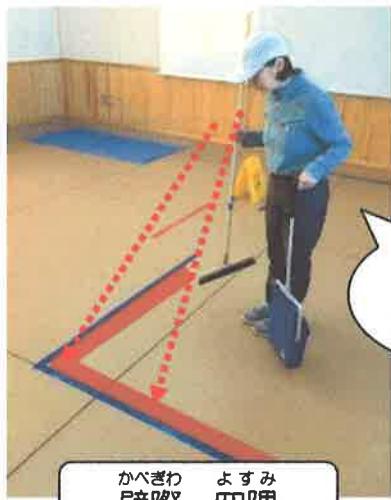
文化ちりとりの中にはうきの毛先を半分入れるようにしてごみを取ります。

毛先全体をちりとりにぶつけるとごみが両端からこぼれてしまいます。

5

点検
てんけん

■ごみの取り残しがないか点検します。



かべぎわ よすみ
壁際、四隅

取り残しなし。



中央

※ごみの取り残しがあれば自在ほうきと文化ちりとりで取ります。

<p>6 退室・片付け</p>		<p>● 自在ほうきは壁などに立て掛けず、床に寝かせて置くようにします。立てて置いておくと、誤ってぶつかったとき倒れて危険ですし、壁を傷つけてしまうこともあります。</p>
<p>7 終了</p>	<p>■仕事は、時間内に終えることが大切です。効率良く確実に清掃を終える努力をしましょう。</p>	

豆知識①

ひごろ どうぐ てい たいせつ けさき 日頃から、道具の手入れをしておくことも大切です。毛先にはこりがついていたり、毛先が割れたりしているほうきでは、きれいに掃くことはできません。道具が長持ちすることにもつながります。



「毛かき」
ほうきの毛についていたごみやほこりを取り除く道具です。



愛媛県イメージアップキャラクター
みきゃん

自在ぼうき

ひょうかひょう

評価表

せいげんじかん ふん
制限時間6分

がつ にち 月 日

		項目	評価	備考
1	①	□身だしなみを整えている。 ※身だしなみ評価表を参照		
準備 じゅび	①	□道具を確認し、足りないものがあれば報告する。		
作業開始 さぎょうかいし	①	□適切な声の大きさや態度で作業開始を伝える。		
	②	□作業表示板を適切な位置に置く。		
4 掃き作業 さぎょう	持ち方 かた	□柄の先端を親指で押さえ、もう一方の手は順手で持つ。		
	掃は 方 かた	□幅木に対してほうきのヘッドを斜めにして掃く。		
	方 かた	□ごみを踏まないように、掃き進める。		
	方 かた	□押さえ掃きをし、掃き終わりで毛先を振り上げない。		
	方 かた	□時々、床に自在ぼうきを軽くたたきつけ、毛先についたほこりを落としながら作業を進める。		
	方 かた	□幅木や机の脚に、ほうきを当てないように掃く。		
	ごみ処理 しょり	□決められた順番で掃き進め、中央にごみを集める。		
	ごみ処理 しょり	□無理のない姿勢で、正しい構えで掃き進める。		
5 点検 てんけん	①	□ごみの取り残しはないか確認し、取り残しているごみがあれば取る。		
片付け かたづけ	①	□使用した道具を全て資機材置場に戻す。		
作業全体 さぎょうぜんたい	①	□適切な声の大きさ及び態度で挨拶や報告をする。		
	②	□きびきびとした行動で、スムーズに作業を進める。		
かかった時間		分	秒	○の数

コメント

きゅう 級

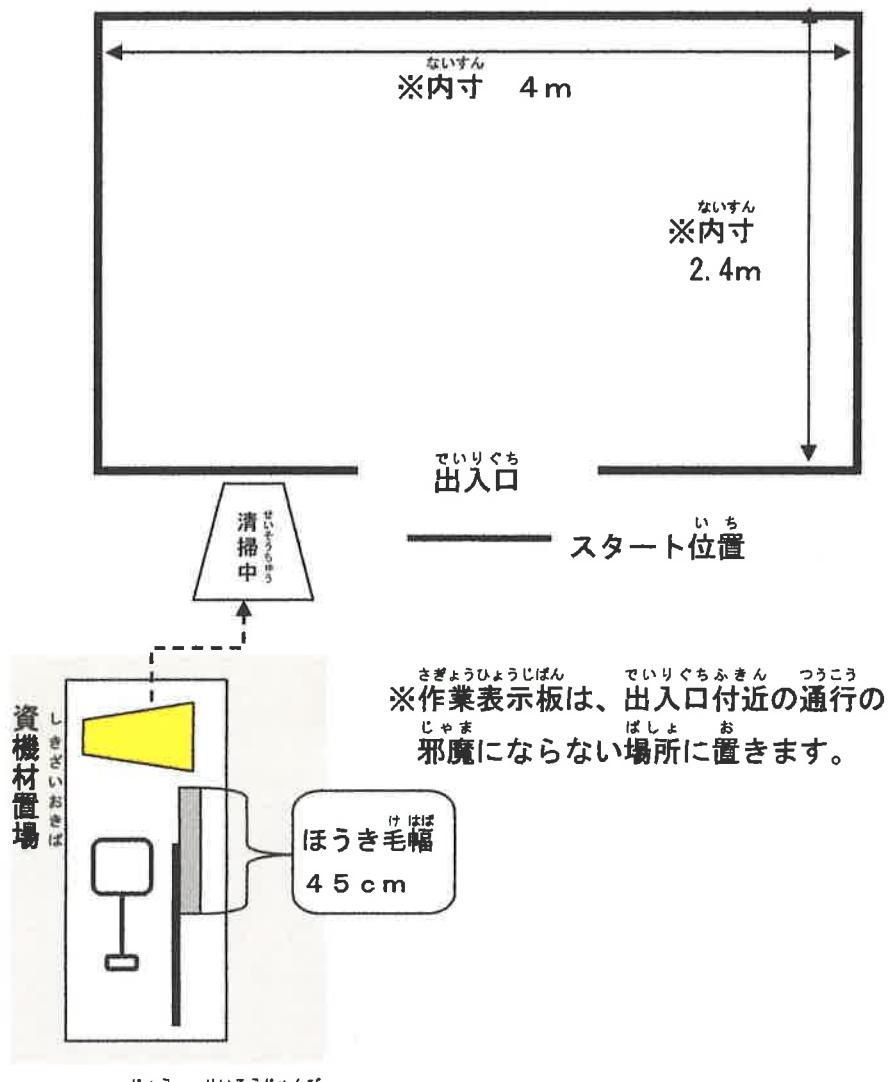
○の数	1,2	3,4	5,6	7,8	9,10	11,12	13	14	15	16
きゅう 級	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

・できていない評価項目に□を入れます。評価欄の枠内の全ての課題がクリアできれば○がつきます。

《場の設定》 自在ぼうき

- 1 テープ又は幅木により区画されたおよそ 2.4m × 4m の範囲を試技コートとします。
- 2 テープ又は幅木の上には壁があるものとして作業を行います。
- 3 テープを使用して試技コートを設定した場合
試技中にゴミが試技コートの外に出た場合、適切にゴミを試技コート内に掃き入れて集めることとします。
- 4 床におがくずをまいて行います。(おがくずは、少し湿らせた細かい目のものを使用。)
- 5 資機材について
ほうきは、自在ぼうき（毛幅45cmのもの）を使用します。

配置図（会場の都合で変更することがあります。）





愛媛県イメージアップキャラクター
みきやん